

み た はち まん
御田八幡神社

(通称) 八幡さま

鎮座地

〒108 港区三田三丁目七番十六号

電話 〇三―三四五一―四六八七

交通機関 国電山手線田町駅下車十二分・都営地

下鉄三田線泉岳寺駅下車五分

祭神 菅田別尊^{はんだべつのみこと} 天児屋根命^{あめのこやねのみこと} 武内宿禰命^{たけしうちのみこと}

祭儀 例大祭 八月十五日

社殿 本殿（鉄筋コンクリート造権現造）幣

殿・拝殿（木造）

境内神社 五光稻荷神社^{ごこういなぎ}（宇迦御魂命^{うかのみたまのみこと}）御嶽神社^{おんたけ}

（大己貴命^{おおひちのみこと}）

境内地 二九七九・九²m²（九〇三坪）

境内建物 神楽殿・手水舎・社務所

社宝類 稗田八幡大神宮縁起絵巻（紙本着色四

巻）呉越物語絵巻（紙本着色）扇面散屏風（六曲

一双）元禄十年検地帳 羅生門禁札

氏子数 三〇〇〇世帯 崇敬者数二〇〇人

由緒 和銅二年（七〇九）、牟佐志国牧岡に

東国鎮護の神として鎮祀され、延喜式内稗田神社

と伝えられた。その後、寛弘八年（一〇一一）武蔵国御田郷久保三田の地に遷座され、嵯峨源氏渡辺一党の氏神として尊崇された。俗に「綱八幡」と称する。江戸開幕のみぎり、僧快尊、元和五年（一六一九）現社地を卜して造営を開始し、寛永五年（一六二八）八月遷座した。別当は八幡山宝蔵寺と称し天台宗に属する。神仏分離により別当僧復飾し神主職に就く（石田弾正）。明治二年九月稗田神社と称号する。同七年一月三田八幡神社と改称し、同三十年四月三田冠称を御田の旧名に復し、御田八幡神社と称号するに至った。昭和二十年五月、東京大空襲により炎上。

戦後の歩み 昭和二十九年本殿権現造、幣殿・拝殿・神楽殿・社務所再建。同四十三年十月、明治百年記念事業として、境内末社御嶽神社ならびに白木鳥居、五光稻荷神社と朱塗鳥居を再建した。